



「第3回 関西二次電池展」出展のお知らせ
～LiBH₄系錯体水素化物固体電解質の新規開発品をご紹介～

 三菱ガス化学株式会社

2016年8月31日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、9月7～9日に開催される展示会「第3回 関西二次電池展」にて、LiBH₄系錯体水素化物固体電解質をご紹介いたします。

全固体リチウムイオン電池（LiB）は、高容量で安全性に優れた次世代LiBとして、電気自動車（EV）や再生エネルギー貯蔵用途への採用が期待されております。LiBH₄系錯体水素化物は、全固体LiB向けの固体電解質として利用が可能です。

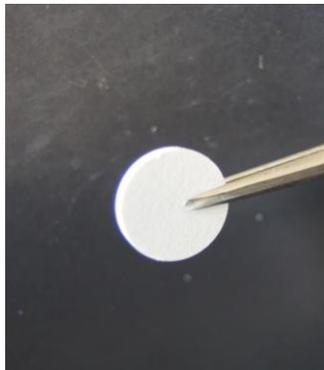
本展示会では、今年3月開催の第7回国際二次電池展でご紹介したLiBH₄-LiI固体電解質等に加え、LiBH₄-P₂S₅固体電解質など新規開発品をご紹介いたします。

また、同ブースにて直接メタノール形燃料電池（DMFC）も併せて展示いたします。

ご来場の際には、是非当社ブースにお立ち寄りください。

■主な展示製品

①LiBH₄-P₂S₅固体電解質



※LiBH₄系固体電解質の詳細は<参考>をご覧ください。

②可搬型 DMFC 電源システム MGC-FC46



定置型 DMFC 無停電電源システム MGC-FC56



※DMFC の詳細は <http://www.mgc.co.jp/seihin/t/dmfc/index.html> をご覧ください。

■展示会詳細

第3回 関西二次電池展

会期：2016年9月7日（水）～9日（金）

場所：インテックス大阪

ブース番号：2号館 3-8

WEB サイト：<http://www.battery-kansai.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

新規事業開発部 TEL：03-3283-4913

<参考>

全固体LiBとは

固体の電解質を用いた、構成部材が全て固体のLiB。

(現行のLiBは、電解液を用いています。)

全固体LiBのメリット

- ・固体のため液漏れせず、安全性が高い。
- ・積層により高電圧化が可能であり、容量密度向上につながる。
- ・比較的高温での電池動作が可能。

今回ご紹介するLiBH₄系錯体水素化物固体電解質のメリット

- ・他の固体電解質に比べ、柔らかく、成形性が高い。
- ・有機溶媒に可溶で、塗布、印刷による電極作製が可能。
- ・次世代電池の負極材として期待されている金属Liの表面処理材として利用が可能。

用途例

- ・EV、PHEVなどの環境対応車。
- ・再生可能エネルギーの負荷平準化、周波数変動抑制。
- ・医療用機器などの高温滅菌処理を行う機器。

以上